

## 待望の二路線の整備完了



市道429号線

市道429号線は新加納重要歴史地区へ向かう道として趣きのある道となった。



市道422号線

市道422号線は那加第一小学校への重要な通学路です。交通安全に大きく寄与する。

各務原市の第二期整備事業(五ヶ年)が平成二十七年四月により整備していたが、最後の整備事業であった市道422号線と同429号線の工事が終わり、新加納地区道路整備の希望がかなった。

# まちづくりかわら版

中山道間の宿 新加納

第16号

平成29年

12月1日発行

新加納

まちづくり会

会長 小島秀俊



### 平成二十九年新加納まちづくり会総会

五月二十八日(日)

新加納まちづくり会総会は、武藤衆議院議員、浅野各務原市長をはじめ、松岡県会議員、伊藤県会議員を来賓に迎え、新加納自治会、シルバー等地域の関係者、会員が参加し盛大に開催された。

第一部では昨年度の事業報告及び今年度の事業計画等の議案について、ご審議いただき承認された。第二部はまちづくり講演として、「近づく大地震にそなえて」と「新加納都市再生事業についての講演を聴講し大変参考になった。



浅野市長挨拶



武藤議員挨拶



「近づく大地震にそなえて」を岐阜県危機管理部防災課から講義いただいた。災害は初期対応が大切なことを実感した。



「新加納都市再生事業について」を各務原市都市計画課長沢田氏より講義をいただきました。計画を確認した。

## 坪内氏ゆかりの郷 富樫郷野々市市へ交流訪問



富樫氏の始まり「家国公」の銅像

康平六年(1063年)家国は「富樫介」を称して、野々市市に館を築いた。



家国公の銅像前にて

承久の乱で朝廷勢力が衰退したことから、幕府方である富樫氏は加賀における武士集団の筆頭となった。



市役所にて交流会

坪内氏と富樫氏とのつながりについて意見交換した。今後の交流についても意見を合わせた。

新加納に陣屋を置いた旗本坪内氏は加賀守護富樫氏が始祖である。その、富樫郷である野々市市へ新加納まちづくり会から交流訪問し、意見交換を行った。富樫氏は、藤原利仁の流れをくむ加賀斎藤氏の一族で、高橋川中流域の富樫郷を拠点とした。利仁から七代の家国が「富樫介」を称したことが富樫氏の始まりとされている。



# 玉鳳山瑞眼禪寺

## 寺社特集

昔、新加納村の洞築林（現浜見町）には、寺号を「極楽寺」と称する天台宗の古刹があったといわれている。しかし、享保年間（一七一六〜一七二一年四月）までは有名無実の衰微した荒れ寺であつたらしい。

享保十三年（一七二八）中山道を西上した禅僧悔堂玄隆和尚は、極楽寺の荒れた姿を見て錫を止め、領主坪内氏に願ひ出て、新加納陣屋の杉山勘平と議し、武儀郡洞戸村の俗弟、林茂教の資金を得て一字を再建した。

その折、極楽寺を玉鳳山瑞眼寺と改め現在に至っている。瑞眼寺再興に尽力した旗本六代目玄蕃定堅は、延宝三年秋には甲府勤番支配、定火消等幕府要職を勤めた後、道雪と号し、瑞眼寺に厚く帰依する。

そして、洞築一円の五町余りの土地と千手観音像を寄進した。

宝曆十三年（一七六三）定堅の息子七代目定孝は「禁制」を出し、瑞眼寺の境内地を保護した。

一、殺生事 一、放牛馬事 一、伐竹木事  
右條々違背之輩於有之者堅可申付者也仍如件

宝曆十三年癸未正月

惣兵衛



禁制札



玉鳳山瑞眼禪寺



新加納村古地図



桂林和尚報恩塔

桂林和尚寺子屋開設その後「洗心小学校」

明治時代、寺子屋を開設し、近隣の村々の子弟を集めて「読み書き」などを教えていた。瑞眼禪寺の第七代住職「桂林宣禄」のもとへは、新加納村・長塚村など遠方の村々から、子弟生徒が三〇人余通つていた。明治五年に学制が發布され、寺子屋から七ヶ村（長塚、新加納、岩地、山後、桐野、西市場、前野）を区域として「洗心小学校」が設立された。

### 行事

盆施餓鬼  
（山門施餓鬼）  
毎年：九月一五日

- 坪内伊豆守肖像軸一幅
- 各務郡新加納村古地図
- 江戸時代の吊鐘（半鐘形）
- 浜見塚古墳群一号墳（各務原市）

寺宝



坪内伊豆守肖像軸

肖像軸の坪内氏六代目玄蕃定堅は、後に伊豆守に任ぜられて以来、伊豆守定堅と名乗る、後（享保四年（一七一九）九月）に宗家である坪内の家督を継いでいる。



江戸時代の釣鐘



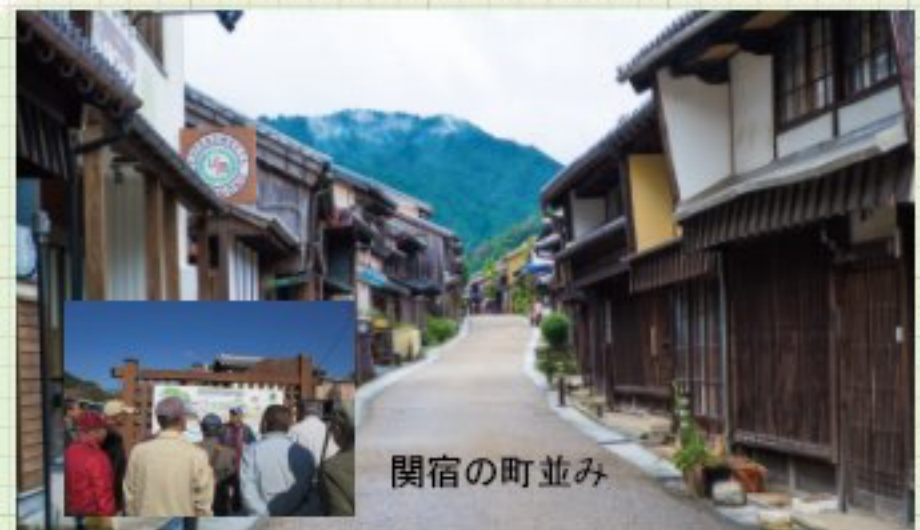
浜見塚古墳群一号墳（各務原市） 寺領

## 歴史のまちづくり探訪

### 東海道の関宿と狸で有名な陶器の里信楽を探訪

十一月六日（月）紅葉の秋、会員三十三名が参加し、三重県亀山市の「関宿」と滋賀県高賀市の「信楽」を訪問。

東海道五十三次ぎの内、関宿は古代から交通の要所であり、古代三関のひとつ「鈴鹿宿」が置かれたところである。歴史的な町並みが残り、国の重要伝統的建造物群保存地区。関宿の範囲は広く東西追分の間約一、八kmあり町屋二〇〇軒あまりが残っている。



関宿の町並み



信楽の狸の置物

信楽は日本六古窯のひとつで、その土地の土は「大ものづくり」に適し「狸」の置物が有名である。また、蛙の置物も多々ある。



関宿の祭り



関宿の旅籠